

<b>ジノテフラン粒剤</b> <b>スタークル1キロH粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 北興  <b>原体メーカー：</b> 三井アグロ
<b>成分：</b> ジノテフラン〔ネオニコチノイド系〕……………3.0%	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 粒剤の水面施用で、斑点米カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイを防除。
- 10 a 当たり 1 kg と処理量が少なく省力的。
- 粒剤なので周辺へ飛散するおそれがない。また、無人航空機でも散布ができる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 本剤を使用する場合には、湛水状態（ヒタヒタ状態）で田面に均一に散布し、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。
- 斑点米カメムシ類の1回目防除の適期は、出穂期（圃場の50%位が出穂した時期）＋7日～10日後頃。稲の穂の極先の方がわずかに傾き始めた頃が適期の目安。1回目の防除から7日～10日後に斑点米カメムシ類がまだ見られる場合は追加防除を検討する。
- 斑点米カメムシ類の防除は周辺イネ科雑草の除草など耕種的防除との組合せて効果が安定する。

- 詳しい防除適期の見極めは、お住いの地域の病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめする。

### 【安全対策上の注意】……………

- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 甲殻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等へ飛散、流入しないよう注意して使用する。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。散布後は水管理に注意する。



### 【適用と使用法】……………

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農業の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 イネミズゾウムシ	1 kg	7 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計 1 回 以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機 散布は合計 3 回以内)
					無人航空機 による散布	